

子どもの名前		記入日	
--------	--	-----	--

7-1. 保育所・こども園の様子 (所属所・園)

* 保育所・こども園等でのお子さんの様子や支援についてご記入ください。
 実態と配慮や支援

各項目ごとに、支援度を3段階でご記入ください。

◎: 配慮や支援は必要がない ○: 何らかの配慮や支援が必要
 △: 多くの配慮や支援を必要とする(具体的にご記入ください。)

歳児		項目	支援度	実態・配慮点や支援の方法
健康の保持	①生活習慣(食事・排泄など)			
	②生活リズム			
	③投薬・アレルギー・発作など			
心理的な安定	①感情のコントロール			
	②状況の理解や変化への対応			
	③活動への意欲			
人間関係の形成	①人とのかかわり			
	②集団行動			
	③ルールを理解や遂行			
環境の把握	①見え方・聞こえ方			
	②その他の感覚(前庭覚・味覚・嗅覚・触覚など)・過敏症など			
	③活動への集中			
身体の動き	①身体全体を使った運動(姿勢の保持・移動・協調運動など)			
	②手指を使った運動(着替え・工作などの際の器用さ)			
コミュニケーション	①指示や話の内容理解			
	②言語表出・発声・発話能力			
	③相手とのやり取り			
	④状況に応じたコミュニケーション			
その他	①文字・数字への興味・関心			
	②遊び			
	③持ち物の管理			

※ 分類は一例です。自立活動立案の際には、何に起因するかを考え、適切な区分に記入してください。

※ 項目の内容や罫線の幅は、お子様の実態に応じて適宜変更してください。

子どもの名前		記入日	
--------	--	-----	--

7-2. 保育所・こども園の様子 (所属所・園)

* 保育所・こども園等でのお子さんの様子や支援についてご記入ください。
 実態と配慮や支援

各項目ごとに、支援度を3段階でご記入ください。

◎: 配慮や支援は必要がない ○: 何らかの配慮や支援が必要
 △: 多くの配慮や支援を必要とする(具体的にご記入ください。)

歳児		支援度	実態・配慮点や支援の方法
項 目			
健康の保持	①生活習慣(食事・排泄など)		
	②生活リズム		
	③投薬・アレルギー・発作など		
心理的な安定	①感情のコントロール		
	②状況の理解や変化への対応		
	③活動への意欲		
人間関係の形成	①人とのかかわり		
	②集団行動		
	③ルールを理解や遂行		
環境の把握	①見え方・聞こえ方		
	②その他の感覚(前庭覚・味覚・嗅覚・触覚など)・過敏症など		
	③活動への集中		
身体の動き	①身体全体を使った運動(姿勢の保持・移動・協調運動など)		
	②手指を使った運動(着替え・工作などの際の器用さ)		
コミュニケーション	①指示や話の内容理解		
	②言語表出・発声・発話能力		
	③相手とのやり取り		
	④状況に応じたコミュニケーション		
その他	①文字・数字への興味・関心		
	②遊び		
	③持ち物の管理		

※ 分類は一例です。自立活動立案の際には、何に起因するかを考え、適切な区分に記入してください。

※ 項目の内容や罫線の幅は、お子様の実態に応じて適宜変更してください。

年齢に応じてコピーし
てお使いください。

子どもの名前		記入日	
--------	--	-----	--

7-2. (コピー用) 保育所・こども園の様子 (所属所・園)

* 保育所・こども園等でのお子さんの様子や支援についてご記入ください。

実態と配慮や支援

各項目ごとに、支援度を3段階でご記入ください。

◎: 配慮や支援は必要がない ○: 何らかの配慮や支援が必要

△: 多くの配慮や支援を必要とする(具体的にご記入ください。)

歳児		項目	支援度	実態・配慮点や支援の方法
健康の保持	①生活習慣(食事・排泄など)			
	②生活リズム			
	③投薬・アレルギー・発作など			
心理的な安定	①感情のコントロール			
	②状況の理解や変化への対応			
	③活動への意欲			
人間関係の形成	①人とのかかわり			
	②集団行動			
	③ルールを理解や遂行			
環境の把握	①見え方・聞こえ方			
	②その他の感覚(前庭覚・味覚・嗅覚・触覚など)・過敏症など			
	③活動への集中			
身体の動き	①身体全体を使った運動(姿勢の保持・移動・協調運動など)			
	②手指を使った運動(着替え・工作などの際の器用さ)			
コミュニケーション	①指示や話の内容理解			
	②言語表出・発声・発話能力			
	③相手とのやり取り			
	④状況に応じたコミュニケーション			
その他	①文字・数字への興味・関心			
	②遊び			
	③持ち物の管理			

※ 分類は一例です。自立活動立案の際には、何に起因するかを考え、適切な区分に記入してください。

※ 項目の内容や罫線の幅は、お子様の実態に応じて適宜変更してください。

子どもの名前		記入日	
--------	--	-----	--

8-1. 小学校・中学校の様子（所属校）

* 小学校・中学校でのお子さんの様子や支援についてご記入ください。
 実態と配慮や支援 各項目ごとに、支援度を3段階でご記入ください。
 ◎: 配慮や支援は必要がない ○: 何らかの配慮や支援が必要
 △: 多くの配慮や支援を必要とする(具体的にご記入ください。)

小・中 年生		項目	支援度	実態・配慮点や支援の方法
健康の保持	①生活習慣(食事・排泄など)			
	②生活リズム			
	③投薬・アレルギー・発作など			
心理的な安定	①感情のコントロール			
	②状況の理解や変化への対応			
	③活動への意欲			
人間関係の形成	①友人関係			
	②集団行動			
	③ルールを理解や遂行			
環境の把握	①見え方・聞こえ方			
	②その他の感覚(前庭覚・味覚・嗅覚・触覚など)・過敏症など			
	③活動への集中			
身体の動き	①身体全体を使った運動(姿勢の保持・移動・協調運動など)			
	②手指を使った運動(着替え・工作などの際の器用さ)			
コミュニケーション	①指示や話の内容理解			
	②言語表出・発声・発話能力			
	③相手とのやり取り			
	④状況に応じたコミュニケーション			
その他	①認知(言語・文字・数量など)			学級での様子・学習面での配慮等
	②持ち物の管理			

※ 分類は一例です。自立活動立案の際には、何に起因するかを考え、適切な区分に記入してください。

※ 項目の内容や罫線の幅は、お子様の実態に応じて適宜変更してください。

子どもの名前		記入日	
--------	--	-----	--

8-2. 小学校・中学校の様子（所属校）

* 小学校・中学校でのお子さんの様子や支援についてご記入ください。
 実態と配慮や支援 各項目ごとに、支援度を3段階でご記入ください。
 ◎: 配慮や支援は必要がない ○: 何らかの配慮や支援が必要
 △: 多くの配慮や支援を必要とする(具体的にご記入ください。)

小・中 年生		項目	支援度	実態・配慮点や支援の方法
健康の保持	①生活習慣(食事・排泄など)			
	②生活リズム			
	③投薬・アレルギー・発作など			
心理的な安定	①感情のコントロール			
	②状況の理解や変化への対応			
	③活動への意欲			
人間関係の形成	①友人関係			
	②集団行動			
	③ルールを理解や遂行			
環境の把握	①見え方・聞こえ方			
	②その他の感覚(前庭覚・味覚・嗅覚・触覚など)・過敏症など			
	③活動への集中			
身体の動き	①身体全体を使った運動(姿勢の保持・移動・協調運動など)			
	②手指を使った運動(着替え・工作などの際の器用さ)			
コミュニケーション	①指示や話の内容理解			
	②言語表出・発声・発話能力			
	③相手とのやり取り			
	④状況に応じたコミュニケーション			
その他	①認知(言語・文字・数量など)			学級での様子・学習面での配慮等
	②持ち物の管理			

※ 分類は一例です。自立活動立案の際には、何に起因するかを考え、適切な区分に記入してください。

※ 項目の内容や罫線の幅は、お子様の実態に応じて適宜変更してください。

学年に応じてコピーしてお使いください。

子どもの名前		記入日	
--------	--	-----	--

8-2. (コピー用) 小学校・中学校の様子(所属校)

* 小学校・中学校でのお子さんの様子や支援についてご記入ください。
 実態と配慮や支援 各項目ごとに、支援度を3段階でご記入ください。
 ◎: 配慮や支援は必要がない ○: 何らかの配慮や支援が必要
 △: 多くの配慮や支援を必要とする(具体的にご記入ください。)

小・中 年生		支援度	実態・配慮点や支援の方法
項目			
健康の保持	①生活習慣(食事・排泄など)		
	②生活リズム		
	③投薬・アレルギー・発作など		
心理的な安定	①感情のコントロール		
	②状況の理解や変化への対応		
	③活動への意欲		
人間関係の形成	①友人関係		
	②集団行動		
	③ルールを理解や遂行		
環境の把握	①見え方・聞こえ方		
	②その他の感覚(前庭覚・味覚・嗅覚・触覚など)・過敏症など		
	③活動への集中		
身体の動き	①身体全体を使った運動(姿勢の保持・移動・協調運動など)		
	②手指を使った運動(着替え・工作などの際の器用さ)		
コミュニケーション	①指示や話の内容理解		
	②言語表出・発声・発話能力		
	③相手とのやり取り		
	④状況に応じたコミュニケーション		
その他	①認知(言語・文字・数量など)		学級での様子・学習面での配慮等
	②持ち物の管理		

※ 分類は一例です。自立活動立案の際には、何に起因するかを考え、適切な区分に記入してください。

※ 項目の内容や罫線の幅は、お子様の実態に応じて適宜変更してください。